

日本財託 社内提案制度導入

66件の改善案集まり7件実現



▶提案BOXにアイデアを投稿

日本財託（東京都新宿区）は、社員から直接アイデアを集め、業務改善

を行う「社内提案制度」を9月からスタート。11月26日までの81日間で、66件の改善案が集まり、7件の提案が実現された。社内

に「提案ボックス」を設置。社員やアルバイトが自分のアイデアを投函する仕組みだ。提案は取締役会や執行役員が集まる会議の重要なテーマとして扱われ、関連部

署で実現可能かどうかを検討していくという流れだ。

これまでに出来た提案内容は、「万が一の時に、確実に復旧できるようバックアップ用のサーバーを設置する」「オーナー専用ダイヤルをフリーダイヤルにすることで、窓口としての機能を強化」「雨が降ってきた場合、来社いただいたお客様に貸し出せる傘とタオルを用意する」など。

社内の業務効率化から営業強化、顧客満足度向上に関するものまで多岐にわたっている。

同社は5年間で社員数が1・7倍に急増。法人営業部や保険事業部などの新部署も続々立ち上げている。そんな状況の中、社員が会社全体に対する業務の改善を提案する場が少なくなったことから、今回の制度の開始に至ったという。